



令和8年度 第2回さつき学級



「交通安全教室～変わる交通ルールと安全な暮らし～」

7月10日(金)、弥富交流促進センターで、第2回さつき学級「交通安全教室～変わる交通ルールと安全な暮らし～」を開催し、参加者は28名でした。講師に、萩警察署 弥富駐在所 所長 袈裟丸篤史 様と萩警察署 交通課 部長 酒迎泰郎 様をお迎えして、交通事故の現状や交通ルールの改正、安全運転の心構え、特殊詐欺対策など、身近な事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

講話では、山口県内や萩市内の交通事故発生状況を紹介され、重要な点として、『『だろう運転』ではなく、『かもしれない運転』を心掛けましょう。』とお話をされました。「車は来ないだろう、人はいないだろう。」と思い込むのではなく、「飛び出してくるかもしれない、見落としているかもしれない。」と危険を予測して運転することが事故防止につながることを教えていただきました。また、見通しの悪い交差点では、自分が優先道路を走っていても、必ず安全確認をすることの重要性についても説明がありました。

その他にも9月からは、生活道路の法定速度が時速60キロから30キロへ見直される自転車の交通ルールについてなども説明されました。また、「エアコンを使用すると酸素濃度が低下し、眠気を感じることがあるので、休憩を取りながら運転することが大切。」など、夏の運転で気を付けることも教えていただきました。

後半の30分は、特殊詐欺防止について学びました。他県ナンバーの不審な車への注意や、草刈り機などの農機具盗難の事例、警察をかたる詐欺電話など、実際に起こっている犯罪について紹介がありました。また、迷惑電話や詐欺電話を防ぐためのアプリの活用方法についてもお話をいただきました。

皆さん、熱心にメモを取りながら耳を傾け、うなずきながら聞かれる姿が多くみられました。最後の質疑応答では、「シニアカーを利用する時に気を付けること、車を運転する側がシニアカーに対して注意すること。」「過失がない場合でも事故が起きた際の責任」など、参加者の方から質問があり、丁寧に説明をしていただきました。

参加者の皆さんからは、「交通ルールを見直す良い機会になった。」「早速、防犯アプリを使ってみよう。」などの声が聞かれ、交通安全や防犯への意識を高める有意義な学習会となりました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

